

瓦谷山



瓦谷山だより



vol.42

発行日 2019年12月20日

発行人 (宗) 真光寺

岡本和幸

印刷社 現代社

(宗) 真光寺

問い合わせ先

(宗) 真光寺

TEL 0438-75-7414

○お寺HP

<http://www.shinko-ji.jp/>

○上総自然学校HP

<http://www.shinko-ji.jp/syoyama/>

○お寺ブログ【瓦谷山だより】

<http://shinko-ji.ecolog-nifty.com/news/>

ごあいさつ

年号が改まり、時の流れがリセットされたような感慨を覚えたものもつかの間、残念ながら令和元年も、地球温暖化の影響と思われる災害の多発が目立つ一年となってしまいました。

九月十二日に上陸した台風十五号は、千葉県に甚大な被害を及ぼしました。当地も暴風雨に見舞われましたが、かつて見たことのないすさまじいものでした。境内や川沿いの巨木が根ごと倒れ、あるいは傾いてしまいました。石のお地蔵様や墓地の灯籠の笠が飛ばされるのですから、その威力のほどがうかがえます。倒木が電線にかかったり電柱が折れたりして県内ほぼ全域で停電、それに伴つて断水も発生し、真光寺も十日間にわたつて電気と水の来ない生活を余儀なくされました。

つづく台風十九号は、東日本大震災以来の広域水害をもたらしました。東京では多摩川、そして長野から東北にかけての多数の河川が記録的な雨量に耐え切れず、堤防の決壊や越水が相次ぎました。さらに追い討ちをかけたのが台風二十一号に伴う豪雨で、特に千葉県や福島県は大きな被害を受けました。真光寺周辺の川も氾濫し、東京ドイツ村の前の道路が冠水しましたが、それにもまして茂原や佐倉では長期にわたる浸水等に見舞われ、度重なる災害に疲弊の色が隠せない秋となりました。

再三にわたる災害に際し、檀信徒会員の皆様からご心配と励ましのお声を頂戴いたしましたことに、心より御礼申し上げます。当山においては建物被害は軽微でしたが、十五号台風の折にはおびただしい倒木がありました。とはいえ資材も揃つておりますし、職員各位が日頃培った山仕事のノウハウを生かし、全力で復旧に当たっておりますので、あと一步のところまで來ていると言えるかと思います。

災害が起ころるたびに話題となりますと、今回も全国から支援の手が差しのべられ、大規模停電の際に各地の電力会社から派遣された方々が、野宿をしながら復旧にあたられていました。現在も各地域で

はボランティアの方々が泥かきなど、人力を必要とする作業に従事してくださいっています。私が理事をつとめるシャンティ国際ボランティア会では、長野県に職員を派遣し、現地の曹洞宗青年会の方々と共に、復旧のお手伝いを行っています。

災害は共助、協力をしなければ生きていいくことができない本来の人の姿を浮き彫りにします。ことさらに「絆」という言葉を使わずとも、人と人が当たり前につながつていける世の中を再構築しなければいけないと、改めて思いました。

昨今、「自分は大丈夫」と思い込む正常性バイアスという心理状態が避難を妨げる原因になることがクローズアップされています。川の流れは想像以上に早く、わずかの水位でも足を取られてしまいますし、安全に思える自動車での移動も、ひとたび水没してしまうと脱出できず、かえつて命取りとなります。今回はハザードマップで危険視されていた箇所以外でも、水害が発生してしまいました。すべては常に変化して確かなものなどないと説くのが仏教的世界観です。地球は今、従来の常識もあっけなく覆されるような危機的状況にあるという認識をもつて災害に備えることの大切さを痛感します。

大きな災害が少なかつた当地においては、自治体も経験に乏しかった感は否めません。水害や地震の際には広域放送や災害備蓄倉庫、あるいはボランティア支援などの面でさまざまな問題が生じるかもしれません。また避難所が足りなくなる恐れがあることも今回明らかになりました。当山でもかねてより災害を想定して太陽光発電や電気自動車の導入や、食料・燃料・日用品などの備蓄を進めてまいりましたが、現実に直面してさまざまな課題があることがよくわかりました。いざという時には当山も避難所になることができるよう、日頃から備えていきたいとします。

まもなく令和二年を迎えます。年末年始にかけ、新年が穏やかであるよう祈る行事が続きます。皆様お誘いあわせの上、ぜひご参詣くださいますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよいお年をお迎えください。

行 事 報 告

◇盂蘭盆施食会

八月九日に山門施食会法要を、七月七日、八月十一日には縁の会施食会法要を厳修致しました。施食棚にはたくさんのお位牌や卒塔婆、食べ物が並び、新亡精霊、先祖代々精霊等あらゆる精霊の供養をしました。

山門施食会では、千葉県いすみ市の中瀧寺（ちゅうろうじ）住職、久保田永俊師にお越しいただき、ご自身がされている活動を元にしたありがとうございました。



施食檀に供養する住職



久保田永俊師によるご法話

◇秋季彼岸会

九月二十三日は秋季彼岸会法要を厳修致しました。これまで縁の会彼岸会と山門彼岸会はそれぞれ別の日に行つておりましたが、今年の秋彼岸よりどちらも春、秋のお彼岸の中日に行つて運びとなりました。

当日は多くの方々にご来山いただき、故人やご先祖様を供養しまし



縁の会彼岸会の様子



縁の会彼岸会の様子

◇薬師堂上棟式

秋季彼岸会に合わせて、薬師堂の上棟式を行いました。上棟式ではまずご祈祷をして薬師堂の無事完成を願い、その後餅まきをしました。（表紙の写真）まいた餅は、前日に檀信徒護持会役員の方々や檀信徒の奥様方と一緒についたもので、なんと約二千三百個もの餅を皆で楽しく作りました。

前日についていた沢山の餅

当日はお彼岸の中日といふこともあつてか、予想以上に多くの方がご参加され、大盛況でした。

天気は、最初

初曇りでしたが、だんだんと晴れてきて、餅まきをする頃には晴天となりました。

台風十五号の爪痕が残る状況で中止が心配されました。が、施工業者である保川建設様や檀信徒の皆様のご協力のおかげで、この節目の祭祀を無事に執り行うことが出来ました。



始めにご祈祷をしました。

令和二年 年回表

一周忌 令和元年平成三十一年
三回忌 平成三十一年
七回忌 平成二十六年
十三回忌 平成二十一年
十七回忌 平成十六年
二十三回忌 平成十年
二十七回忌 平成六年
三十三回忌 昭和六十三年
三十七回忌 昭和五十九年
五十回忌 昭和四十六年
百回忌 大正十年

ご寄進いただき心より御礼申し上げます。皆様からのご寄進は諸堂建立に充てさせて頂き、食堂の寄進芳名單にお名前を記し、永く寺錄に残させていただきます。

金	拾	萬円
金	伍	萬円
金	参	萬円
金	参	萬円
金	参	萬円
金	壹	萬円
太刀鉢	山西惠子	茂木芳枝
岡本秀明	三国丈夫	上條博
ミノ	金成潤	齊藤喜美枝
		宇田川貞子
		黒崎勲

ご寄進者ご芳名

縁の会総会報告

当日の様子

今回は午前に法要と総会、午後は①お葬式についての法話②絵本を届けるボランティア活動に加えて③里山散歩を開催、普段はなかなか見学できない自然学校のフィールドをご案内しました。その他、野菜販売の里山市では話題の「のうえんカフェ」等に出店いただき大変賑わいました。

令和元年十一月三日 第九回縁の会総会を開催いたしました。

総会要約

樹木葬墓苑 募集状況

平成十八年から十四年にわたり募集を進めてきました樹木葬墓苑は約一二〇〇区画のご契約があり、総会員数二三〇〇名となりました。（残区画五〇）

今後の計画について

境内西側の畑があつた場所に第四期墓苑を開園する計画です。五〇〇区画程度を想定しています。この四期をもつて募集終了の予定です。

薬師堂建設

現在建設中の薬師堂（瓦谷山だより四〇号参考）には位牌棚を設置し、新規入会、家族入会の方のための受け皿を整えていきます。また、一部には曹洞宗の宗旨の根幹、坐禅堂を設けます。

長期的な見通し

当代にて伽藍整備を終え、多くの信者の方に支持していただける体制を整えていきます。

墓苑募集終了以降は、観光寺としても訪れてもらえるように、アジサイを中心とした花にあふれた境内を目指し、現在整備を進めています。



里山散歩は申込が殺到したため定員を大幅増員して開催しました。

事務連絡

○墓苑内での火気の使用はご遠慮ください。

○供物、人工物の放置はご遠慮ください。

○供花を植えることのできる範囲は碑の周囲です。※花が繁茂して、区画をはみ出すケースが増えています。

ご配慮をお願いいたします。

○発生したゴミは原則持ち帰りをお願いしておりますが、やむをえない場合には寺務所にお持ちください。

○ゴルフカートを導入しました。墓参に利用できます。ご希望の方は職員にお申し出ください。

○定期的に下草の刈取りを行っています。天候により管理工程以上の早さで繁茂する場合もありますのでご理解のほどお願いいたします。

○樹木の強剪定、伐採によって、目印にしていた植木の状態が変化しますが、森林管理の必須事項ですのでご了承ください。※台風等で木が倒れたり、枯れることもあります。

○墓地中央部の井戸の水が出ない場合には「よび水」を入れてください。

○送迎をご利用される方は、前日の午後四時までにご予約をお願いします。ご利用された方は、車両の維持費に充当いたしますので、お布施をお願い申し上げます。※バス見学会を墓参にご利用いただくことができます。その場合にも参加費の他にお布施をお願いします。

○墓苑内をペットとお散歩することはできます。建物内に入る場合は、必ずケージ、キャリーケースをご利用ください。その他利用者がいる場合には入室をご遠慮いただこともあります。

※以上のお知らせ事項は、お墓参りにいらつしやるご家族、ご親族、ご友人にもお伝えくださいますよう、お願い申し上げます。

お葬式の「」と

・山内葬

昨今はお葬式のスタイルが多様化して、送る側の知識が必要になってきていますので、どのようなものがあるか、概略をご紹介します。

まず、人気があり、最もよく聞く「家族葬」ですがこれは特定のお葬式の形式をさしています。参列がご家族だけならどのような葬儀形式でも、「家族葬」となり、参列者の内訳を表す言葉です。葬儀の形式に限っては主に次の3つです。

(家族葬は一般に一日葬の場合がほとんどです)

葬儀の形式

- ・直葬 .. 葬儀なし。荼毘に付すのみ。
- ・一日葬 .. 告別式のみの略式葬儀。
- ・一般葬 .. 通夜と告別式の二日間の葬儀。

ご家族が亡くなつたら

里山葬は真光寺縁の会向けの、ご遺骨での葬儀です。火葬の後日に正式な告別ができる方法です。

(山内葬、里山葬をご希望の方は真光寺にお問い合わせください。)

葬儀の形式をどう決めるか？

真光寺は正式な宗教儀礼として一般葬をおすすめしますが、なるべく簡素にという希望の方も多いと思います。その場合には、一日葬をご検討ください。通夜はお身内だけで故人を偲んでいただき、後日、告別式をされることをおすすめいたします。直葬は「迷惑をかけたくないの何もしなくてよい」という考え方から、最近増えてきます。しかし送る側の立場になつて考えてみると「何をすればよいかわからなくなる」ことになり、困惑し、精神的な節目と安定を失うこともあります。少なくとも一日葬をされることは後々のご家族の心の安寧につながると考えます。

葬儀社との打合せと並行して、日程、内容、場所を真光寺にご連絡ください。場所がどこであつても真光寺の僧侶がお伺いいたしますので、まずはご相談ください。山内葬をご希望の場合は文末の提携葬儀社にもご連絡をお願いします。

注意点

葬儀をされる場合に真光寺以外の僧侶が施行することは、禁忌です。ご注意ください。(直葬やお別れ会などで宗教儀礼をしないことについては禁忌ではありません。)

『十二神将奉納者募集中』

真光寺では現在建設中の薬師堂に安置する十二神将像の奉納者を募集しております。十二神将は薬師如来をお守りする十二体の武神です。

それぞれの武神には十二支が配当されており、頭部に干支をかたどった飾りをのせてあります。ご奉納くださる場合は、武神をお選びいただき、その台座に施主名を記名し、永くご安置いたします。

ご奉納をご希望の方は寺務所にお申し出ください。(十二体の仏像になりますので、先着順とさせていただきます。)

奉納布施 一体 五万円



袖ヶ浦市の歴史

【連載】未来に伝えたいふるさとの歴史

望陀布（もうだぬの）の世界（一）

袖ヶ浦市郷土博物館館長

井口 崇

——その始まりは古墳時代にまで遡ることになるのだろう。以来、藤原京→平城京→平安京と古代の都は遷都するが、これらの時代にあって、日々の宮廷儀式や祭祀、仏教儀礼で用いられ、また遣唐使派遣の際には唐の皇帝への献上品として、さらには天皇の代替わり（践祚）の時に執り行われる大嘗祭では必需の調度品として用いられる。そんな献上布があつたことは、あまり知られていない。その名を「望陀布」という。

◆房総からのミツギモノ

日本で古代国家が形成されようとしていた頃、近畿地方では大王（おおきみ）を中心とする諸豪族の連合政權的な性格を持つヤマト王権による支配が展開されていました。その組織の詳細は明らかではありませんが、ヤマト王権が地方を支配するためそれぞれの地域の有力豪族と同盟を結び、その支配を拡大・強化していましたと考えられています。

ヤマト王権は、各地の国造（くにのみやつこ）など有力な地方豪族たちに対し服属や同盟の証として、食料や布など様々な産物や労働力の献納を求め、房総からも、御賛（みにえ）、「神に捧げる神饌（しんせん）」と天皇の食膳に供される食物」や御調（みつき）「布のほか各地の特産品」として多くの産物が、まさに貢（みつぎ）物として中央に貢納されました。

◆布で納める人頭税

七世紀後半から八世紀初め頃（飛鳥→奈良時代の初

め頃）になると、唐の制度に倣った律令という法体系の下で行政組織が整備され、御調の制度も租庸調として知られる税制へと変化します。租は国衙（こくが）に米を納めることで、これは地方行政の財源となります。庸は本来、京での労役従事でしたから、男子に課されたいわば人頭税ですが、都から離れた地域では労役の代わりに布（麻布）などを納めました。調は各地の所産に応じた絹・絶（あしぎぬ）粗い絹の布）、糸（絹糸か）、棉（わた）（ゆう）のことで、穀（かじ）・楮（ごく）（うぞ）などの植物纖維またはその糸、布（麻布）などのうち一種を納めます。これも庸と同様、男子に課せられた人頭税で、庸も調も都に運ばれ、國家の財源となりました。調・庸を負担する農民（納税者）は「調庸之民」と呼ばれましたが、古代においては、調庸之民が物納する品目の多くが絹や麻などを主とした紡織製品や、その素材であつたことがわかります。

◆房総からのミツギモノ

この時代の記録などに、「布」とだけ書かれているのは麻布のことで、日本の麻布は、大麻を原料とする布、苧麻（ちよま）を原料とする布の二種類がありました。大麻はクワ科の一年植物で縄文・弥生時代にはポピュラーな纖維植物として使用されましたが、古墳時代の中頃からイラクサ科の多年植物でからむしとも呼ばれる苧麻が多用されたようで、正倉院に残る麻纖維製品の調査結果でも、苧麻が八割、大麻が二割といわれます。苧麻が優位になつたのは、纖維が丈夫で光沢があり、晒すとより白くなる性質のためと思われます。

苧麻のことを記した最古の記録は『魏志倭人伝』です。そこには、「種禾稻 紵麻 蠶桑緝績 出細紵縫縣」「稻やアワなどの穀物、紵麻（からむし）を植えている。桑と蚕を育てており、糸を紡いで細かな紵の布、上質の絹織物を作っている」と記されています。また、『日本書紀』持統天皇紀 即位七年（六九三）の条には、「詔

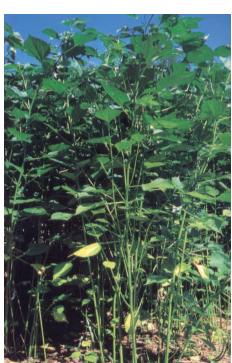
令天下 勸殖桑綺梨栗蕪菁等草木 以助五穀」「詔（みことのり）をして、天下に桑・綺（からむし）・梨・栗・蕪菁（アオナ）今いうカブ）などを植え、これらを五穀の助けとするよう勧めた」というような記事もあって、苧麻も長い時代にわたり栽培が奨励されてきたことがわかります。

ついでというとおかしいですが、もう少し苧麻に関する資料を紹介します。『原色牧野植物図鑑』は植物としての苧麻・からむしを「カラムシ（マオ）」「マオ属（Boehmeria nivea Gaud.）日本各地、および中国、印度、マレーの温帯から暖帯に分布。原野にはえるが、畑に栽培される多年草。根茎は木質、地中枝をのばして繁殖。高さ1~2m。葉の裏面が白綿毛を密生。花は夏から秋、茎には強い纖維があり織物を作る。和名は皮のある茎を蒸して皮をはぎ取ることにちなむ。一名マオは眞の麻の意味。漢字苧麻。種小名は雪のようない意」と解説しています。

もう一つは「枲」という字を使って（からむし）としている資料です。平安時代中頃（十世紀前半）につけられた『和名類聚抄』（わみよううりじゅしょう）は百科事典のような書物ですが、その卷十四（調度中



麻纖維製品の原料となる苧麻（からむし）



いじゅしょう）は書物ですが、その卷十四（調度中）織機具「麻苧」の文中に、「説文によると麻は和名を阿佐（あさ）といい、枲の仲間である。枲は爾雅の注によれば、苧は和名を阿介無之（けむし）という。周禮の注

によれば苧は和名を加良無之（からむし）といい、麻の仲間で白くて細いものである」と記されています(『説文』「爾雅」「周禮」はいずれも古代中国の書物)。

◆苧麻の糸づくり

古い話になりますが、袖ヶ浦市郷土博物館は、開館十五年目にある平成九年四月、増改築工事を経て、展示内容を一新し、リニューアルオープンしました。

全面的に改修した歴史展示において、袖ヶ浦の歴史を捉えるための一つの提案として、現在から過去へと時間を遡っていく方法をとり、テーマを《くらしの移り変わり》としたうえで、①近・現代②近世③中世④古代⑤原始Ⅰ⑥原始Ⅱという、六つの時代区分に基づく単元構成をとり、それぞれの単元を貫くサブテーマ〈道〉を設定しました。それは、際だつた地域的特色に乏しい袖ヶ浦を〈道〉というテーマのもと、人や文物の動きに視点を置いて捉えようとするもので、各単元のはじめには、かつての袖ヶ浦の「シーン」を象徴する模型を設置し、それぞれの時代の袖ヶ浦を印象づけようとしました。



模型で現された租税運搬の様子

私が担当した古代の単元では、「古代の道を、都へと調庸物等の税を運ぶムラ人（運脚夫）とその監督にあたる官人が通り過ぎていく。その傍らではムラの長が、火葬によって送られている。」というシーンを設定し、租税の輸送と火葬という二つの事柄を通して古代の袖ヶ浦を探ろうと試みました。そして、模型の中の運脚夫が背負う荷を「望陀布」としたのですが、模型では布の姿を見ることはできませんから、布の実物がなくてはならないものとなり、いさか無謀でしたが望陀布の復元に踏み切ることとなつたのです。

現存する麻織物のうち、越後上布や宮古上布は柔らかくきめ細かな上質の苧麻布として著名です。越後上

にかかる「からむし生産技術」を頼つて、からむし糸の製作と二尺八寸（約八三センチ）の布幅の実現に向けた復元的研究を行い、その成果として苧麻布（推定復元の望陀布）を制作すること



復元された望陀布

しかし、当時、制作できたのは大麻纖維を用いたものだったので、その後、奥会津の昭和村に伝承されている「からむし生産技術」を頼つて、からむし糸の製作と二尺八寸（約八三センチ）の布幅の実現に向けた復元的研究を行い、その成

果として苧麻布（推定復元の望陀布）を制作することができました。

望陀布のきめ細かさを考えると、糸づくりの技術がとても重要であることは推測できましたから、糸づくりの研究から始め、緻密な幅広の布を目指しましたが、結論から言うと、正倉院に伝わる上総貲（かずさのさよみ）という細糸で織られた麻布と同じ一センチ当たりの経糸と緯糸が二二本×二二本の布は、再現できませんでした。糸づくりは理想の形が見えてきましたが、織りに関しては、特に幅広に織る技術が追い付かない：ということでした。

布の質を考えるときの目安として、糸そのものがもつ剛さや柔らかさ（それには撚「より」の多少といつたことも関係する）、経糸と緯糸の本数で決まる布の粗密などがあげられます。そこには、素材となる纖維束をより細かく引き裂く「績（う）む」技術、糸に撚をかける「紡ぐ」技術、晒（さら）しの技術、出来上がった調布とは区別された地域特産の特別なブランドであったことがわかります。

美濃は古代の国名で今岐阜県南部のあたり、望陀は今の袖ヶ浦市・木更津市・君津市の一部を含む範囲に相当し、上総国に十一あつた郡の一つでした。奈良時代に始まる望陀という郡名は、明治三十年に君津郡に変わるまで使われていました。



調として納める布（麻布）を調布といい、絹織物品のことを調絹といいます。平安時代に編纂された律令法の施行細則『延喜式』では、国ごとの調として納めるべき品目が指定されています。麻布の產出国は数多くありますが、その種類や数量をみると、安房国・上総国が圧倒的に多く、特別な環境にあつたことがわかります。また、その中で固有の地名が付けられているのは絹織物の「美濃絶（みののあしきぬ）」と麻織物の「望陀布」だけで、この二つの紡織製品については『和名類聚抄』に「調布（豆岐乃沼能）有信濃望陀等名望陀者上総国郡名也其體與他國調頗別異故所出國郡名為名也（調布 みつきのぬの 信濃 望陀等の名が有る）」とある。望陀は上総国の郡名なり。その形は他国の調と著しく異なっている。故に出す所の国郡名をもつて名としている」との記述があり、美濃絶も望陀布も、他の調絹・

布の場合、福島県昭和村産苧麻を用い、その経糸と緯糸の一平方センチあたりの数はそれぞれ二〇〇・二八本で、望陀布や上総貲を考える際に十分参考になります。

◆特別な調布「望陀布」

調として納める布（麻布）を調布といい、絹織物品のことを調絹といいます。平安時代に編纂された律令法の施行細則『延喜式』では、国ごとの調として納めるべき品目が指定されています。麻布の產出国は数多くありますが、その種類や数量をみると、安房国・上総国が圧倒的に多く、特別な環境にあつたことがわかります。また、その中で固有の地名が付けられているのは絹織物の「美濃絶（みののあしきぬ）」と麻織物の「望陀布」だけで、この二つの紡織製品については『和名類聚抄』に「調布（豆岐乃沼能）有信濃望陀等名望陀者上総国郡名也其體與他國調頗別異故所出國郡名為名也（調布 みつきのぬの 信濃 望陀等の名が有る）」とある。望陀は上総国の郡名なり。その形は他国の調と著しく異なっている。故に出す所の国郡名をもつて名としている」との記述があり、美濃絶も望陀布も、他の調絹・

里山の台風被害

とても健やかな道の香林が、突然倒木になってしまった。里山を維持していく為の活動で、伐採された林内では、幹も細く折れ枝打ちや間伐が行われています。里山にも大きな被害をもたらした今年の台風。里山にあります。山一つ一つにあります。里山を維持していきます。里山にも大きな被害をもたらしました。県内では大規模な停電があり、里山の抱える問題を子どもたちにも見て、知ってもらいました。



倒木の激しい杉林。里山の抱える問題を子どもたちにも見て、知ってもらいました。

イベントだより

—草取りとホタル観賞—



自分の腰ほどもある雑草にも怯むことなく突き進みます。

農薬を一切使用せずにお米作りをしているため、田んぼの雑草は人力で抜かねばなりません。今年は空梅雨の為雑草も勢いが強く、中々手強い草取りとなりましたが皆さんのおかげで綺麗になりました。

—収穫祭—



竹の器で新米いただきました！

天気は悪かったですが少しだけ稲刈りも出来ました。

台風の影響がまだまだ残る中、それでも今年の収穫をお祝いしたい！という有志の方々に参加していただき、無事収穫祭を開催する事が出来ました。来年は平穏な年になりますように。

イベントのご案内

皆様のご参加をお待ちしております！

- ・1月25日（土） 餅つきと椎茸の菌打ち
- ・2月16日（日） 野鳥観察会
- ・3月28日（土） お花見トレッキング
- ・4月11日（土） 田んぼの畔塗りと稻苗作り
- ・4月12日（日） 田んぼの畔塗りと稻苗作り

- ・4月19日（日） 巨木巡りと里山トレッキング
- ・5月30日（土） 水路の生き物観察会
- ・6月 6日（土） 田んぼの草取りとホタル観賞
- ・6月21日（日） 田んぼの草取りとホタル観賞

※各イベントの詳細は上総自然学校のHPをご覧ください。

上総自然学校フィールドの希少な生き物たち
第一回・トウキヨウサンショウウオ

環境省希少野生動植物種保存推進員 大島 健夫

里山に棲む生き物の生息状況を定期的に調査している大島さん。自ら『愛すべき里山の生き物たち』という本を出版するほど里山の生き物に対する造詣は驚くほど深いです。そんな大島さんの視点から自然学校の里山の生き物を紹介していただきました。

私が瓦谷山真光寺とご縁を頂いたのは2011年のことです。ある日、私が詩のイベントを定期開催している千葉市内のカフェのマスターが、よくわからないことを言つてきたのです。
「ねー大島さん。お寺があつてさ、そこで田んぼとかやつて生き物の調査をしてくれる人が欲しいっていふんだけど、やらない?」
「な、なんの話ですか?」

当時、上総自然学校の職員をされていた方がよくそのカフェにいらっしゃつており、フィールドで生物調査をする人を探しているというのを聞いたマスターが私に声をかけてくれた、という経緯をのみこむのにしばらく時間がかかりましたが、そこからはどんどん相手に話が進み、気がついた時には長靴をはき、網を手にして川原井の谷津田に立つておりました。以来、毎月最低一回は調査を実施させて頂いているのですが、八年が経つた今になつても、ほとんど毎回のように初確認の種が出ます。生物多様性という観点からすると、この川原井、上総自然学校フィールドの谷津田は本当に素晴らしいところです。

そもそも「谷津」とは、台地や丘陵地にできた谷状の地形のことなのですが、実はこの谷津地形というものの起源は、およそ二万年ほど前の氷河期にまでさかのぼります。

今より百mあまりも海面が低かつたこの時代、河

川の浸食によつて谷ができました。約六千年前の縄文時代になると、こんどは地球が温暖化して海面が上昇、谷には海が侵入し、入り江となりました。その後海面は徐々に低下し、入り江からは水が引いていくのですが、約2千年前の弥生時代に稻作が始まると、谷津は水田化されました。これが谷津田の誕生です。

よく、田んぼを眺めて「わあ、きれいな自然ですねえ」とおっしゃる方がいます。しかし、当たり前ですが原生林などの手が加わっていない自然と谷津田の自然とは、その性質がまったく異なるものです。谷津田とは人の農の営みによって維持されているもので、結果として水田、水路、アシ原、湿地、溜池、斜面林といった変化に富んだ要素により構成され、そこに多種多様な生物が暮らしているという、長い年月をかけて積み上げられた人間の生活のサイクルと、数々の生き物の生活サイクルが幸福な形で融合した生態系モデルです。言い換えると、この「谷津田の自然」システムというのは、人間が維持管理することが前提となつているもので、ちゃんと手入れされていない、あるいは放棄されてしまった谷津田は、たちまち荒廃してゆき、やがては生物多様性も失われてしまうわけです。

前置きが長くなつてしましました。この連載では、常に人の手入れが行き届き、それがために数多くの生き物が安定的に暮らしている上総自然学校フィールドの希少な生き物たちについて紹介していくたいと思います。第一回はトウキヨウサンショウウオです。千葉県にいるサンショウウオはこれ一種のみ。東京都の西多摩郡（現在のあきる野市あたり）で採集された標本をもとに学術的に記載されたことから、「東京」と、福島県の一部に生息しています。

雪解けの季節になると、トウキヨウサンショウウオ

詩人。1974年千葉県生まれ。2014年、24時

間ワンマン朗読ライブ完遂。詩の朗読の日本選手権・

ボエトリースラムジャパン2014優勝。パリで開催

されたボエトリースラムW杯で準決勝進出。一方でネ

イチャーガイドとしても活動。千葉県生物多様性セン

チ葉の中などで暮らしているようです。つまり、この種を保全するためには、繁殖場所である水辺と、それに連結する森林をセットで保全することが必要とされるのです。トウキヨウサンショウウオは谷津田での稲作と伝統的な里山環境に適合した生き物であると言えます。そうして考えると、上総自然学校フィールドにおけるトウキヨウサンショウウオの健全な生存は、すなわち、二千年の歴史を持つ、健全な「谷津田の自然」が守られてゐることの証明でもあるのです。



トウキヨウサンショウウオ Hynobius tokyoensis

有尾目サンショウウオ科

千葉県RDB・VU（絶滅危惧II類）
千葉県RDB・A（最重要保護生物）

大島 健夫

詩人。1974年千葉県生まれ。2014年、24時間ワンマン朗読ライブ完遂。詩の朗読の日本選手権・ボエトリースラムジャパン2014優勝。パリで開催されたボエトリースラムW杯で準決勝進出。一方でネイチャーガイドとしても活動。千葉県生物多様性セン

行 事 予 定

“お寺で初詣” 年頭祈祷法要のご案内（元日～3日）

新年の安全・厄除け・諸願成就を祈念して個別のご祈祷を承ります。

右写真の木札を作成いたしますので、来山前にお電話等でお申し込み下さい。事前申込みが無い場合でもお受けできますが、お待たせすることがございます。

受付時間 午前9時～午後4時まで15分刻み（元日～3日 3日は正午まで）

法要時間 約15分

祈祷料 3,000円～5,000円程度

願意 木札に書き入れます、2つまでお選びできます。

- ①家内安全 ②諸災消除 ③諸願成就 ④如意吉祥 ⑤交通安全
- ⑥合格祈願 ⑦厄除守護 ⑧身体健全 ⑨当病平癒 ⑩身体堅固
- ⑪良縁祈願 ⑫安産祈願 その他、車の祈祷等ご希望に応じてご祈祷いたします。

前年の御守、お札等がある方（当山以外の御守でもかまいません）はご持参下さい、お焚き上げいたします。



御仏供糸
よろずのことによい

ランドセル御守・ミニ御守
お孫様の交通安全に



交通安全
反射ステッカー

交通安全
御守



木札

仏像彫刻教室

《どなたでも参加できます》

日時：毎月第1・第3水曜日

13時30分～16時30分

費用：3,500円 / 1回参加

場所：真光寺（参加者が3名以上で開催）

仏師の先生にご指導頂き仏像を彫っていきます。初めての方でも大丈夫です。それぞれの方に応じたペースで、取り組みます。※要予約

坐禅会

《どなたでも参加できます》

日時：毎月第2・第4土曜日

15時～16時30分

初心者の方もやさしくご指導いたしますので気軽にご参加ください。脚がくめない方は椅子を使って参加して頂けます。休憩をはさんで2回坐禅をくみます。終了後は、僧侶と一緒に茶話会もございます。

※初めて坐禅をされる方は、簡単な説明を致しますので14時30分までにお越し下さい。

精進料理と聖典講読の会

《どなたでも参加できます》

日時：1月20日（月） 2月25日（火）

3月30日（月） 4月20日（月）

5月27日（水）

午前11時～午後2時30分

費用：3,000円 昼食付（精進料理）

場所：真光寺

住職による『正法眼藏隨聞記』の解説の後、一緒に食事をして、午後は坐禅または写経を行います。昼食は、真光寺手作り精進料理や手打ちそばをお楽しみいただきます。



行事予定

【真光寺と駅、バスターミナル間の送迎もありますのでご希望の方は裏表紙をご参照ください。】

修正会

《檀信徒》

日時：1月3日（金）14時より

檀信徒皆様の家内安全を祈願し、ご祈祷法を行います。

春彼岸法要

《檀信徒》

日時：3月20日（金祝）14時より

春のお彼岸供養を行います。法要後には余興を予定しております。

戒名を考える会

《縁の会会員 特に未授戒の方》

日時：3月31日（火）午前11時より午後2時半

費用：3,000円（昼食付）

定員：20名

戒名を考えることは、人生を振り返ることです。午前中は戒名にまつわる仏教知識を学び、昼食に精進料理を頂きます。午後は住職指導のもと、実際にご自身の戒名を考えます。考えた戒名は後日の授戒式にて正式に住職よりお授けし、位牌に刻銘の上、観音堂にご安置します。

※要予約

※持ち物：漢和辞典



七日法要

《縁の会会員》

日時：1月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お餅つき）午後は年頭祈祷法要

2月7日（金） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

3月7日（土） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

4月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）午後は花まつり法要と植樹祭

5月7日（木） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

※要予約 午前、午後ののみの出席もできます。

ご詠歌練習日

《どなたでも参加できます》

2月 4日・25日 | 5月 12日

3月 10日・24日 | 6月 9日・23日

4月 14日・28日 | 7月 7日・21日

時間 5月～9月は19時半・10月～4月は19時より

※ご詠歌は、お釈迦さまの教えを讃え、ご先祖さまをうやまう心をやさしい旋律にのせお唱えするものです。

真光寺囲碁の会

初心者入門基礎講座

《どなたでも参加できます》

日時：4月8日（水）～9日（木）

14時から翌日13時30分解散

費用：8,000円 1泊3食

場所：真光寺

初心者の方も大歓迎！日本棋院六段の先生に基礎から教わり、囲碁をはじめてみませんか？日帰りのご参加も可能ですのでお問い合わせください。

※要予約



縁の会春彼岸法要

《縁の会会員》

日時：3月20日（金祝）11時より

縁の会の春彼岸法要を行います。

昼食（お弁当）のご用意を致しますので、参列申込みの際にお弁当の要・不要をお伝え下さい。

欠席の場合でも御回向のみ、お塔婆のみのご供養もお受け致しますのでお申し付け下さい。

※要予約

七日法要

《縁の会会員》

日時：1月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お餅つき）午後は年頭祈祷法要

2月7日（金） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

3月7日（土） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

4月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）午後は花まつり法要と植樹祭

5月7日（木） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

団体参拝旅行

薬師堂・坐禅堂完成披露と 南房総復興支援の旅

今回の旅では、当真光寺の薬師堂完成披露を行いたいと思います。

五月の新緑が眩しく、真光寺境内の隅々まで生気がみなぎるこの時に、新しいお堂を皆さんにお披露目いたしたく、企画しました。ピカピカの薬師堂で法要を修行した後は皆さまの親交を深めていただく席を鴨川温泉にて設けます。お堂建設の経余曲折などを肴にご歓談いただければと思います。

二日目は千葉県南部の定番観光コースをめぐります。台風十五号の影響が大きかつた南房総ではありますが、既に日常を取り戻しつつあります。田植え直後の大山千枚田など、観光を楽しんでいただくことで復興支援につなげていきたいと思います。

お体にご負担の少ない日程で、新しいお仲間とお過ごしいただける機会です。是非ご参加ください。



表紙写真のこと

お彼岸の餅まき直前まで、約10日間にわたり周辺地域は停電に悩まされました。檀信徒のご家庭も同様であったのにも関わらず、餅づくりにご協力していただきました。

餅まきは今では珍しい催事になってしましました。真光寺職員も経験がなく、準備のみならず作法などもご教示いただき、皆さまのおかげで開催することができました。まことにありがとうございました。



日程:令和2年5月17日(日)~18日(月) 旅行代金28,000円

送迎のご案内【午前】

□電車の方

- ・上り電車の方（君津発逗子行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時05分着
- ・下り電車の方（快速君津行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時10分着

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発8時55分→袖ヶ浦BT9時57分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

【平 日】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発9時00分→袖ヶ浦BT10時02分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

送迎のご案内【午後】

□電車の方

- ・上り電車の方（木更津発普通千葉行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時51分着
- ・下り電車の方（千葉発普通君津行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時50分着
(千葉12時18分発)

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発11時35分→袖ヶ浦BT12時27分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時50分→袖ヶ浦BT12時55分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

【平 日】

- ・品川発11時50分→袖ヶ浦BT12時42分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時50分→袖ヶ浦BT12時55分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

各種お申込み連絡先

真光寺 〒299-0201 千葉県袖ヶ浦市川原井634

TEL 0438-75-7414 (代表) TEL 0438-75-7365 (縁の会事務局) FAX 0438-75-7630

e-mail ennokai@shinko-ji.jp (縁の会)

satoyama@shinko-ji.jp (上総自然学校)